

平成25年山武市教育委員会第2回定例会会議録

1. 期 日 平成25年2月20日(水)
2. 場 所 山武市教育委員会庁舎会議室
3. 開 会 午後1時24分
4. 出席委員 委員長 五木田 孝義
委員長職務代理者 高橋 尚子
委 員 京相 光徳
委 員 小野崎 一男
委 員 嘉瀬 尚男
教育長 金田 重興

5. 議場に出席した職員の職及び氏名

教育部長	加瀬 芳美
教育総務課長	渡邊 聰
学校教育課長	宮川 欣也
学校教育課指導室長	鵜澤 政仁
生涯学習課長	篠崎 君子
スポーツ振興課長	川島 勝喜
公民館長	市原 修
学校給食センター所長	宮負 勲
文化会館長	江澤 正
図書館長	小野 稔
事務局	
教育総務課総務企画係長	秋葉 一徳
教育総務課総務企画係	篠原 正洋

開会 委員長が挨拶し午後1時24分開会を宣する。

日程第1 ○会議録署名人の指名

五木田委員長が議長となり、高橋委員を指名する。

日程第2 ○会議録の承認

第1回定例会教育委員会の会議録を全員異議なく承認。

日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、1月18日から2月19日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

- 1月18日 こども園・保育所の現場回りを行った。
- 19日 第9回の日韓友好の夜(ゆうべ)が東金市で行われた。山武市でもいろいろお世話になっている東金市の土屋春美さんが会長を務めている会によるものである。当委員会でも小野崎委員が日中友好ということで中国に行かれたが、日本、中国、韓国とのぎくしゃくした関係ではあるが、こういう団体における友好というのが大事だと思っている。
- 20日 午前中に市民駅伝大会。また、同日は第61回左千夫短歌大会が行われた。今回の特徴的なことは、市内全ての小中学校、更に二つの高等学校の全てから作品が寄せられ、昨年より1,000首多い3,414首の作品が寄せられたということである。今後も全ての学校でこういう取り組みをしてもらえるとありがたいと思っている。
- 21日 第1回の教育長・校長合同面接を行い、19校の校長から人事要望を伺った。
- 22日 教職員との人事その他要望ということで、学校教育課長と共に東上総教育事務所へ行き、所長、管理課長と協議を行ってきた。
- 23日 校長会議が行われた。
- 24日 市の第2回指定管理者選定委員会が行われた。今回の会議にあがった事案は、オライはすぬまと学童保育の経営についてだったが、オライはすぬまは引き続き今までの組合が、学童の方は成東のNPOひだまりというところが選定された。
- 26日 校長会、親睦旅行が行われた。
- 27日 市民サッカー大会、また、同日は郷土芸能振興大会が行われた。
- 28日 浦安市で県市町村教育委員会連絡協議会第2回教育委員研修会が行われた。内容は、最近の教育課題と教育委員会の役割ということで、今日的な研修であったと思う。
- 29日 文化財審議委員会議が行われ、旧松尾町にある朝日ヶ丘古墳、そして、成東の食虫植物群落を視察した。
- 30日 東金市の源小を訪問した。更に先日は大網白里市の増穂中、瑞穂小も訪問してきた。そういう中で、本日は成東小を訪問してきた訳だが、他市の学校の様子と比較しても、悪くないむしろ良かったなと感じている。
- 2月 1日 市の後期総合計画審議会が行われた。また、同日の夕刻に教職員組合との交渉があった。教職員組合からはいろんな要望が出ていたが、これに対して教育委員会としての回答をした。この交渉がどんなものか見学したいとのことで、嘉瀬委員に同席していただいた。後ほど感想をいただきたいと思う。

- 3日 県子ども会中央大会。山武地区が当番ということで、蓮沼スポーツプラザで行われた。午前中の講演には千葉県警のOBであり、危機管理についての書籍を出されている星幸広氏からお話をいただいた。講演の内容をまとめると、昔はそんなに学校に行かなかった無学な村でも立派な子が育った。ところが今は、高学歴な親が駄目な子を育てている。ともかく過干渉、過保護はやめて逞しい子どもを育てましょうというお話だった。
- 4日 市スポーツ推進員会議が行われた。
- 5日 市で行っている職員の業績と人事評価の期末面談を行った。教育部長と本日出席の課長等と個票をもつての面談を行った。皆さん恥ずかしくない業績を残して、しっかり職責を果たしてくれたと捉えている。
- 7日 学校のあり方検討委員会の講演と会議が行われた。講演をいただいた講師は、城西国際大学の七井教授で、あり方検討委員会の副委員長も務めていただいている。講演の内容はグローバル経済社会に生きられる人材育成が必要。それに対応できる教育環境づくり、学校再編であるべきとまとめられるかなと思っている。
- 8日 園長会議が行われた。
- 9日 敬老慰安会が行われた。
- 11日 山武郡市民駅伝競走大会が行われた。予想を超えるすばらしい優勝という成績を勝ち得ることができた。
- 12日 校長会議が行われた。
- 13日 都市教育長協議会の役員会があり、その後に県の瀧本教育長や幹部を交えての情報交換会が行われた。今回は平成24年度の報告と平成25年度の計画について協議を行った。その中で東上総選出の幹事は現在、私といすみ市の鈴木教育長が選出されているが、平成25年度は私の代わりに茂原市の古谷教育長が幹事として選出されることとなった。
- 15日 社会教育委員会会議が行われた。
- 16日 ロンドンパラリンピックで監督をされた方、選手で出場した方々を招いて、ポッチャという軽スポーツ競技の講習会を行った。今回は体育協会の松尾支部、蓮沼支部が主催ということで、共催で市教委の生涯学習課という形をとった。こういった手法によって今までよりも、より多くの方々、年代を超えたいろんな立場の方々が参加されて、こういう方法をとっていくのが今後とも大変良いことだなと感じたところである。
- 18日 第6回挨拶運動が行われた。
- 19日 東上総教育事務所において第1回の教育長面接が行われた。教職員人事最終の方向性が示された。3月8日に異動する方の提案がある。確定は3月22日となっている。山武市としてはまずまずの人事になるのではと捉えている。また、同日に

議会一般質問の答弁すり合わせを行った。本日配布の教育委員会ジャーナルの項目の4番で、3月議会で教育に関しての10の質問が予定されていますということで、載せさせていただいている。各委員さんも思いがあるかと思うが、この会が始まる前に皆さんで話していたことを耳にしたが、まったく同じような感想を抱いているが、あえてここでは述べて終わりにしたいと思う。

五木田委員長：日韓友好の夜は何人くらい参加していたのか。

教育長：100名程度だったと思う。城西国際大学に留学している学生、韓国語を習っている方々、当市と同じように鞍山市との交流がありそれに関わった方々、先生方がみえていた。来賓として県会議員、市会議員などたくさんみえていた。

委員長：議案第1号「市議会定例会提出議案(平成25年度山武市一般会計予算)に同意することについて」から議案第3号「市議議会定例会提出議案(山武市立幼稚園設置条例の一部改正)に同意することについて」は議会の提出前であり、議案第7号「成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員の委嘱について」、協議第1号「準要保護の認定について」及び報告第1号「第3回山武市学校のあり方検討委員会の会議結果について」は公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたい旨、提案。

(「異議なし」の声)

日程第4 ○議決事項

議案第1号 市議会定例会提出議案(平成25年度山武市一般会計予算)に同意することについて

教育総務課長：平成25年度山武市一般会計予算については、平成24年第12回定例教育委員会において説明していることから、その後に変更になったもの及び特に説明を要するものについて説明する。(以下、資料に基づき説明。)

各所属長より資料に基づき説明。

京相委員：生涯学習課で、斎藤信夫先生の童謡集を出すとのことだが、一般向けに販売するのか。

生涯学習課長：現段階では販売は考えていない。これについては、なるなみコーラスが持っている資料(童謡集)をその会で発行したという話を受けたことから、その印刷に対する予算を計上したものである。

京相委員：いままで童謡集のようなものはなかったのか。何曲あるのか。

生涯学習課長：なかった。55曲である。

※原案のとおり同意。

議案第2号 市議会定例会提出議案(山武市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)に同意することについて

学校教育課長：このことについては、平成25年第1回定例会で協議していただいたものであり、原案のとおり市議会へ議案として提出するものである。

※原案のとおり同意。

議案第3号 市議会定例会提出議案(山武市立幼稚園設置条例の一部改正)に同意することについて

学校教育課長：このことについても、平成25年第1回定例会で協議していただいたものであり、原案のとおり市議会へ議案として提出するものである。

※原案のとおり同意。

※議案第4号及び第5号は関連議案であるため一括して審議。

議案第4号 山武市長の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する協議について

議案第5号 山武市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する協議について

学校教育課長：議案第4号については、こども園化に伴う事務の補助執行について、市長と山武市教育委員会との地方自治法第180条の2及び180条の7の規定に基づく事務の補助執行に関する協議を、山武市教育委員会組織規則第6条第23号の規定により議決を求めるものである。(以下、資料に基づき解除する補助執行事務(私立幼稚園就園奨励費の補助に関する事)について説明。)

議案第5号については、幼稚園業務を市長部局(子育て支援課)へ移譲することに伴い、その事務(11事務)を補助執行させることについて審議いただくものである。

※議案第4号及び第5号ともに原案のとおり可決。

議案第6号 教育財産の用途廃止について

教育総務課長：こども園化(なるとうこども園、しらはたこども園の開設)に伴い、教育委員会が所管する3園(成東、緑海、鳴浜幼稚園)について用途廃止をするものであり、教育委員会組織規則第6条第6号の規定により議決を求めるものである。なお、教育委員会が所管する幼稚園に蓮沼幼稚園(現在休園中)があり、今回の議案

に直接関係はないが、次回の定例会で廃園について提案したいと考えているので、併せてご意見をいただきたい。

五木田委員長：3園については用途廃止でよろしい。蓮沼幼稚園をどうするかについては今回の議題ではないが、廃園する方向でいるのか。

教育総務課長：休園にした当時の経緯もあるが、それ以降は廃園の話もないままとなっている。

五木田委員長：海岸から2kmたらずの位置であるし、おおひらこども園も開園し距離的にも通園が可能ではある。私(蓮沼の住民)から見ればそのような方向でいいかなと思う。少子化の問題もあるので。

教育長：今回各委員から方向性をだしていただいて、次回の定例会で正式に決めたいと考えている。

五木田委員長：蓮沼幼稚園は海岸から2kmないと思う。3.11の東日本大震災を教訓とするならば極めて危ないということである。そこからおおひらこども園までは2kmはあると思うが、蓮沼の保護者のことを安全面から考えれば、現在の蓮沼幼稚園よりもおおひらこども園に通園をした方が、安全という面から妥当かと思う。東日本大震災を教訓にすれば、蓮沼幼稚園の廃園はやむを得ないかなと思う。私も蓮沼の住民であり、幼稚園に通うような子どもはいないがそういう思いがある。

京相委員：今まで蓮沼幼稚園は希望者がそれほどいなく、それでも廃園にならなかったのは、私立の保育園の関係があったと聞いているがそれについてはクリアできるのか。クリアできるとしても津波が廃園の理由だとしたら、現在、私立の保育園に通っている子はどうするのかとなりかねない。そういう理由で廃園するのはどうかと思う。大丈夫か。津波のことを考えるのなら私立の保育園は構わないのかということ、逆に切り返された時にどう説明するのかということ、この委員会でそういう結論に達したと結論付けていいものなのか。

教育総務課長：平成20年頃に教育委員会で議論されていて、蓮沼幼稚園の人数が少なくなってきたことから、現在の経営者に規模を拡大してはどうかという意味で、蓮沼幼稚園を使うよう私立保育園の関係者に話を向けたという経緯がある。その後、学童保育施設として使ったようだが、小学校から遠いということでそれも1年足らずで終わってしまった。その後、私立保育園を含むこども園化の話もあり、おおひらこども園と一緒にしてはどうかという話もあったが、なくなり、現在に至るという状況である。津波が来たらどうするのかという話だが、私立保育園と隣接している蓮沼中学校には、既にグラウンドに入れるように門扉をつくっており、また、中学校の校舎に津波避難用の外階段を今年度設置する予定である。私立保育園の意向もあるが、津波対策については手を尽くしている。

教育部長：休園する理由としては入園希望者が減少してきて、維持できないということで休園したようである。入園希望者が無いという理由で廃園をするということであれば、理由が立つのではないかと考えている。

五木田委員長：蓮沼小学校に入学する子どもたちのほとんどが、私立保育園から来ている。津波の話は蓮沼中学校の後ろに保育園があり、いざという時は中学生との連携もあることから、経営者も理解できると思う。

高橋委員：当時、蓮沼幼稚園は3名しかいなくて保護者と協議して休園した。今回早くしらはたこども園を立ち上げた。子どもの安全を考えれば蓮沼幼稚園をまた開園することもなく、おおひらこども園かしはらたこども園に通っていただくことになると思う。私立保育園は自分たちで津波に対する防衛対策をつくっているだろうし、蓮沼中学校へ避難できるようになって外階段も設置されることから、それはそれで保育園の先生方も考えていると思うので、教育委員会としては廃園してもいいと思う。

五木田委員長：あくまでも東日本大震災の教訓を踏まえての廃園という方向である。何かもったいない気もするが。

高橋委員：地震がある度に不安があるようでは困るので、できれば不安要素は一つでも取り除いた方がいい。

教育長：市としておおひらこども園、保健院の跡地にしはらはこども園を建てた訳なので、また蓮沼幼稚園を再開するというのはつじつまが合わない。それ以前に希望者が少なくなった時に、市としては私立保育園へ公設民営ということで、十分整備したうえでご利用いただけないかなと投げかけた。私立保育園側からは、それだけ積極的にやっていくつもりはないとのことだった。その時点で再度開園することは、可能性としてはほとんどなく即廃園しても構わなかったが、あの頃は町村合併したばかりで、あまりにも蓮沼における公的施設がなくなってしまうことなどの、旧蓮沼村住民の感情を推し量って、しばらく休園という期間を設けるのがよからうというような判断で休園に至っていた。そうした中で東日本大震災があってこども園ができた訳なので、廃園にしても異論はないと考えている。ということで、今回は方向性をだしていただいて、改めて次の会議で正式に廃園を決めることができればありがたいと思う。

五木田委員長：私立保育園は蓮沼中学校と隣接しているが、蓮沼幼稚園は蓮沼中学校まで少し距離がある。東日本大震災の教訓を踏まえた子どもたちの安全からすれば、廃園もやむを得ないと思う。そういう方向でよろしいか。

各委員：異議なし。

※原案のとおり可決。

議案第7号 成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員の委嘱について

生涯学習課長：1月31日に任期が満了したことに伴う委員の委嘱である。委嘱する委員7名の全てが継続であり、任期は2年間である。

小野崎委員：愛土会とはどのような会なのか。

生涯学習課長：食虫植物群落がある島地区の方々がつくった会で、食虫植物群落を長い間維持していただいている。野焼きやすすきの刈り取り作業などをしていただいている方々の会である。

※原案のとおり可決。

日程第5 ○協議事項

協議第1号 準要保護の認定について

学校教育課長：4世帯10名について説明。

※4世帯10名について認定。

協議第2号 山武市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する法令等の制定内容について

教育総務課長：市長部局にあった事務を教育委員会がその事務を行う場合の規則は既にあったが、今回の幼保一元化に伴い市長部局が幼稚園の事務の一部を執行する、補助執行の規則がなかったため、今回新たに規則を制定するものである。(以下、資料に基づき制定の内容を説明。)

小野崎委員：確認させていただくが、今までこども園の申請は、短児部は教育部に長児部は保健福祉部にしていたが、今回の規則を制定することでこども園については全て保健福祉部が受けるという理解でよろしいか。

教育総務課長：そのとおりである。

小野崎委員：残された2園の幼稚園は教育部になるのか。

教育総務課長：それについても保健福祉部の子育て支援課に新たに設置される幼保こども園室で行うことになる。

※原案のとおり了承。

休憩 14時29分から
14時37分まで

協議第3号 山武市教育委員会組織規則等に係る法令等の改正内容について

教育総務課長：提案内容が①から④まであり②から④については学校教育課長から説明をする。提案①山武市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定については、教育委員会の所管に属する教育機関を現行の組織図に合わせるための改正について検討を求めるものである。(以下、資料に基づき提案①の改正内容について説明。)

学校教育課長：提案②山武市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定については、こども園化に伴い成東、緑海、鳴浜幼稚園の文書記号を削除するものである。

提案③山武市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定については、成東、南郷、しはたらのこども園について3歳の定員を30人以下、4歳を35人以下、5歳を35人以下。日向、むつみのおか、蓮沼の幼稚園については全て30人以下に揃えるものである。(以下、資料に基づき提案③の改正内容について説明。)

提案④山武市要保護及び準要保護児童生徒認定要領の一部を改正する訓令の制定について、資料に基づき改正内容を説明。(主な改正箇所：要領2(3)中「及び児童扶養手当金額」を削除。3中の「民生委員及び」を削り「関係部門の長」の後に「及び民生児童委員」を加えた。)

小野崎委員：確認だが提案②では成東、緑海、鳴浜幼稚園を処務規程から削除して、提案③の幼稚園管理規則そのものについては定員も含めて成東、緑海、鳴浜幼稚園が残っているが整合性はとれているのか。

学校教育課長：例えば成東幼稚園という名前は場所として残るが、実態としてはこども園として文書が作成されるので、処務規程から除かれても問題ない。

京相委員：提案①で図書館に図書係を置くとなっているがなんで図書館だけなのか。

教育総務課長：この規則が制定された時に図書館には図書係があったということである。以前は課に係が一つの場合は係を置かない方針があったようだが、今は係を置いている。図書係を設けないと係長職の職員が配置されない。

京相委員：職の関係であるのなら、公民館などの施設には係長級の職員はいないのか。

教育総務課長：係長級の職員はいるが係長という職名をもった職員は配置されていない。

教育総務課長：今回提案した内容以外にも分掌事務など見直しをしなければならない部分があり、現在内部で協議を行っている。見直しができた段階で協議事項として提案したい。

※原案のとおり了承。

協議第4号 山武市教育振興基本計画について

教育総務課長：山武市教育振興基本計画については、平成23年4月に制定し、平成32年度までの10年間を見据え策定している。この計画は、毎年適宜見直しを図ることとなっている。今回の改訂も主に第3章を中心に見直しを図り、修正部分は赤字で表記している。今回協議いただき、了承いただければ、2月28日に行われる有識者会議で学識経験者から意見を伺い、3月の定例教育委員会に議案提出させていただきたい。

第1章から3章までの主な変更箇所について各所属長から説明。

五木田委員長：P22の下段の指標、英語指導助手がいる授業の割合(小学校)の現状値が100で、H24の目標値が14.9となっているが矛盾しないか。

学校教育課長：目標値を設定した平成20年度は、英語授業が必修化されていなかったためである。

嘉瀬委員：当初の目標値としてH24目標値が記載されていると思うが、平成25年度から29年度の5カ年計画の中で、この目標値を使っているのがピンとこない。しかも、H23現状値がでていてH24目標値よりいいものがたくさんあるので、ここの表示は今後の5年間の目標値に直すか、あるいは目標値の達成率にしてもらったほうがいい。

教育総務課長：H24目標値については市の総合計画の前期基本計画の目標値であり、現在後期基本計画の策定に向けて進めている。後期基本計画の目標値はまだ表には出てきていないのでH24目標値とした。後期基本計画の策定期間によっては新しい目標値を使いたい。

小野崎委員：H29年目標値がいいと思う。

京相委員：P37の60歳以上の高年層の健康意識の高まり、あるいはスポーツを行う市民の割合が増えているという現状認識、スポーツ施設の老朽化というのも確かに現状はそうだなと思う。ただ、それが今後の具体的な取り組みの中のどこにどのように反映してくるのか、これからのことなので入ってくるとは思いますが是非頑張っ
て欲しい。それから幼保の支援については教育委員会の中ではこうだろうが、国の段階で考えると今幼児教育を国が言い始めている。こども園に関わってくる部分での教育はどういうふうになるのかということは、これからまた考えておかなければいけないことになるのかなと感じている。

高橋委員：社会体育施設の体育館は避難所になるものもあると思うが、例えば鳴浜体育館には避難所としての設備は設置されているのか。

スポーツ振興課長：鳴浜体育館は今のところ避難所の指定がされていない。消防防災課からは今後避難所に指定したい旨の話はきている。ただ、天井(非構造部材)の耐

震が指摘されているので、これを改修してから避難場所に指定して対応していく予定である。

高橋委員：各小中学校に防災倉庫があると思うが体育館の中に置かないのか。

スポーツ振興課長：体育館については常時体育施設として使用しているので、備蓄用品を置くスペースがないのが現状である。

教育総務課長：蓮沼中学校では食品や毛布については校舎の3階に保管することになっている。

嘉瀬委員：P26の課題の三つ目で、こども園職員研修会研修会となっているがどうか。

学校教育課長：訂正させていただく。

第3章の各施設の改修工事・備品整備計画について、各所属長から説明

第4章及び第5章について、教育総務課長から資料に基づき各章の変更内容を説明。

嘉瀬委員：第5章の資料編については、参考になるもので新しいものに変更されているが、項目によっては平成21年の資料がいまだに載っているものがある。新しいデータというものがいいのか。例えば携帯電話の所持率などは平成21年度のものである。できれば新しいものにしていただきたい。

学校教育課長：平成21年度の全国学力・学習調査の生活の部分で得たデータであり。それ以降は抽出調査になってしまったため、市内平均のデータとしてはない。

嘉瀬委員：全国データとか大規模な調査であればデータが出せないのはわかるが、山武市内の状況であれば割と出しやすいのではと思う。そのへんの数字だけでもあるとこの資料が生きてくると思う。

学校教育課長：もう1年待っていただきたい。というのも来年度に全校調査が行われるので。

五木田委員長：現場の先生の多忙化につながると言われている。必要なものは調べなければならないと思うが。

※原案のとおり了承。

日程第6 ○報告事項

報告第1号 第3回山武市学校のあり方検討委員会の会議結果について

教育総務課長：2月7日に開催された会議結果について報告する。会議では副委員長である城西国際大学の七井教授から講演をいただいた。グローバル経済の進む中での人材育成ということで、学びとは社会に尽くす力を身につけることであり、そのための人材育成が必要だという話であった。グローバル社会に対応する人材育成、これに対応できる教育環境づくりが必要であり、学校の再編についても同じ

であるというような内容であった。(以下、資料に基づき委員からの意見等を報告。)

小野崎委員：会議録は検討委員会として公表することになったのか。

教育総務課長：委員の名前は伏せて市民へ公表することの合意が得られたので、市のホームページで公表している。

小野崎委員：学校のあり方検討委員会設置の際に、地域ごとの話し合いになった時に、微妙な問題があるからという問題と記憶していたので、そのへんがどうかと疑問に思った。公表する方向はいいことかも知れないが。

教育長：会議録は委員長に伺いをたてて、その結果で公表することになっている。全て公表するものではない。十分注意をして行う。

五木田委員長：公表して地域が混乱するようでは困る。

報告第2号 平成24年度卒業式・平成25年度入学式の出席者について

学校教育課長：資料に基づき出席者について確認を行った。

報告第3号 平成25年度山武市幼・小・中学校教職員合同着任式について

学校教育課長：4月3日に行う合同着任式について、資料に基づき式における役割を説明し確認を行った。

報告第4号 第6回市民駅伝競走大会結果について

スポーツ振興課長：1月20日に開催された第6回市民駅伝競走大会について結果を報告。雪の影響で第1区と最終の第12区のコースの一部を変更し、小学校区単位の13支部対抗の14チームが参加した。優勝が日向支部、準優勝が成東支部、3位が大富支部であった。

報告第5号 第43回山武郡市民駅伝競走大会結果について

スポーツ振興課長：2月11日に開催された第43回山武郡市民駅伝競走大会について結果を報告。町村合併して初めて山武市が優勝した。準優勝が東金市、3位が大網白里市であった。区間賞は山武市から第3区、第5区、第8区、第12区で4名が獲得した。

五木田委員長：前半、後半ともに1位で完全優勝、大変すばらしい成績である。

報告第6号 行事の共催・後援の承認について

教育総務課長：平成25年1月4日から1月31日までに承認した1件の共催、1件の後援につ

いて報告。

報告第7号 3月の行事予定について

教育総務課長：教育総務課の3月の行事予定について報告。

学校教育課長：学校教育課の3月の行事予定について報告。

スポーツ振興課長：スポーツ振興課の3月の行事予定について報告。

生涯学習課長：生涯学習課の3月の行事予定について報告。

図書館長：図書館の3月の行事予定について報告。

文化会館長：文化会館の3月の行事予定について報告。

公民館長：公民館の3月の行事予定について報告。

学校給食センター所長：学校給食センターの3月の行事予定について報告。

その他

高橋委員：2月8日に南郷小のミニ集会があった。防犯のことで昨年こども110番の看板の設置場所や壊れているものをなんとかしましょうという話をしたが、ミニ集会でも防犯の話があり、こども110番の看板が設置されているがもう誰も住んでいないとか、見直しをしようとか、4年生が防犯マップを作ったとのことだった。こども110番の看板は市なのか警察なのか。私の家にも看板があったが、たった一度だけお願いしにきて、その後壊れてしまってそのままになっている。看板や設置については市と警察のどちらに言えばいいのか。

学校教育課長：そのことについては、市民部なのか教育部なのか警察なのかははっきり分かっていない。

図書館長：成東町時代の総務課にいた時に防犯係を担当していたが、その当時は、警察署の生活安全課でこども110番の看板を地域の方にお願ひして、こども110番の家ということでやっていた。

高橋委員：4月に新生が入るということもあるので、できれば3月中にある程度、学校で話し合いをして、きちんと文書にしてお願いしたいということ、防犯マップを作った4年生が中心になってでもいいが、そういうことをできるようにしてあげたいので、どこの管轄なのか知りたい。

嘉瀬委員：私の時は地域のことなのでPTAですべて管理していた。看板は警察からもらってくるが、PTAの安全委員会や本部役員とでどこに設置したらいいか検討して設置した。毎年、年度が変わったら広報紙をもって今年もお願いしますと回ったりしていた。細かい管理は学校単位でしかできないと思うので、それぞれの学校でどうなのかわからないが、少なくとも私の時はそうだった。

高橋委員：もう一度、校長や教頭先生にしっかり言っていただいて、看板が警察にある

のならいただいできて、各学校の防犯意識を高めるためにもう一度リセットしてやり直していただいたらと思う。

五木田委員長：こども110番の家についてどうなっているか、校長会でなげかけてみていただきたい。

教育部長：議会の質問の中にもあるのだが、主体と言うか管轄がはっきりしていなくて、どこが音頭をとっていいか分からない状況である。特定の家を決めるよりも地域の見守りみたいなものの方がいいのではないかと思う。例えば、不審者がいて110番の家まで逃げなければいけない状況よりも、地域全体で見守れるようなこともあるのではないか。

高橋委員：一つ思うのはパトロール隊などもあるが、看板を貼ることでこの地域では犯罪はできないなと不審者に対する抑止に役立つのではと思う。パトロールでもどこの家に逃げ込んでもいいと思うが、目安として子どもたちがいつも通学する場所に看板があればここがそうだなと分かるという思いと、不審者がこの地域はパトロールが強化されていると思わせる。そういう意味合いではいいと思う。

嘉瀬委員：子どもを守る意味でやるので、我々の時の考え方としては、自分たちの子どもの安全のためにお願いしている訳で、そういう活動をやることによって意識も高まっていた。学校エリアは広いからそれぞれの地区に住んでいる人たちに分担してやることによって、その地域との交流とかのメリットもあって、ただ単に逃げ込む場所をキープしているだけではない側面があった。そういうことも考えていくと、学校単位で保護者の意識を高める指導の方法があってもいいと思う。単純に逃げ込む場所をキープするだけだとすれば、選定してお願いするだけでいいかもしれないが、そこに逃げ込むのは自分たちの子どもだということを、しっかり認識してもらうような流れをつくっていくのがいいと思う。

教育長：議会での一般質問があるということで、分かる範囲で各学校について調べてみたがまちまちであった。やっていたりやっていなかったり、PTAだったり、最初にやったまま捨て置かれているところもあったありである。時代も変わっているので、住んでいない家もあり、高齢で対応できない家庭もある。そういうことで、高橋委員が言われたように、結論としては一度リセットして皆で考えるということになるのかなと思う。議会質問の答弁としてはどう答えるか迷っている。

高橋委員：警察署の生活安全課に看板がたくさんあるのなら各PTAに欲しい。

図書館長：生活安全課に防犯協会連合会というものがあって、各市町から補助金をいただいで運営しているが、そこで予算立てして看板を買っていると思う。看板を設置している家のリストもあると思う。市の事務局とすれば市民課の市民生活係になると思う。

教育長：実態把握を詳細にしなければならぬところだが、現段階では市民部の防犯担

当としてはお手あげで、担当して進めることはできないと聞いている。みんなが及び腰になるかなと思っている。教育委員会でもこれを全部受けたら大変なことになるが、それでも子どもたちを守らなければいけないので、議員や保護者の意見もあるが、嘉瀬委員が言われるように自分たちの子どもを守るのだからということで、自分たちも汗をかくという方法も必要になってくるのかなと、そういうことも含めてリセットということになると思う。

京相委員：以前にPTA連絡協議会でポスターづくりから始めたことがある。市のPTA連絡協議会に教育委員会が働きかけていたと思う。他にどんな団体に関係したかの記憶はないが主体はPTA連絡協議会だった。

高橋委員：PTA連絡協議会がある程度つくって単Pになげかければいい。

五木田委員長：こども110番の話は学警連でも話題になった記憶もある。

小野崎委員：別の話で本山市議に言われたのだが、朝、駐在さんが山武警察署に集合しているのは私も承知しているのだが、鳴浜の信号機のところには駐在さんが朝いると言われた。ところが大平にはいない。もし駐在さんの会議の時間を20分遅らせてくれば、子どもの登校時間は8時頃だと思うので、そうしてくればいいのかという意見を言われた。そうすると駐在さんが小学校の近辺の交差点にいて、子どもたちが学校に行ってから山武警察署に集合すればいいのかどうかで、申し出てくれませんかと言われた。実態が分からなかったが鳴浜で見たのでやっているところもあるし、何かそういう申し出ができるのかどうなのか。他で駐在さんが学校付近の交差点に立っているところはあるのか。

京相委員：立つ日が決まっているのではないか。

高橋委員：保護者は日が決まっている。

五木田委員長：交通安全運動期間中ではないか。普段は見ない。要請すればやってくれと思うが。

小野崎委員：もし警察署との会議があれば。

教育長：学警連の会合が年2回ある。そこで話題に出してみる。

学校教育課指導室長：山武市教育委員会ジャーナルについて説明。

京相委員：一般質問の誕生学とはどういうものか。

学校教育課指導室長：私的な協会がつくった生命の尊さ、誕生、生命の神秘それらについて、主婦たちが手を組んで、学校や団体へ出向いて講演をしていくという私的な団体が唱えているもの。

京相委員：議会で質問が出るということは、それをやれということか。

学校教育課指導室長：そこまでは分からない。

五木田委員長：誕生学会という学会があるのか。

学校教育課指導室長：誕生協会という私的な団体である。

京相委員：もう一つ、これから卒業式シーズンを迎えると、特に中学校で器物破損ということが考えられるが、これについては校長会等で十分話はしてあると思うがよろしく願います。

学校教育課指導室長：東上総教育事務所からも通知がきており、それを伝達し該当する校長先生方とは連絡を密にして対応に励んでいる。

6. 閉会 午後4時33分